



## 警告：一般的注意事項

ご自身の身体の安全を守り、お使いの装置と作業環境を保護するために、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。

 **メモ**：お使いのコンピュータ、モニタ、および各コンポーネント（ストレージ ドライブ、PC カード、および周辺機器など）の追加ユーザー情報は、[support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) の「マニュアル」の項で参照することができます。

 **メモ**：本項における装置とは、すべてのポータブルデバイス（コンピュータ、ポータリプリケータ、メディアベース、ドッキングステーション、および類似のデバイス）、デスクトップコンピュータ、およびモニタを指します。本項を読んだ後で、お使いの特定の装置に関する安全にお使いいただくための注意を必ずご覧ください。


**医療環境での使用に関する重要な注意事項**：Dell 製品は医療機器ではないため、UL 60601 または IEC 60601（あるいはそれに相当するもの）の対象ではありません。そのため、Dell の製品は、患者から約 6 フィート（1.8 m）以内の距離で使用したり、患者に直接または間接的に接触しないでください。

## 安全について：一般的注意事項



**警告**：火災を防ぐために、ろうそくまたはその他の火炎を常にこの製品から遠ざけてください。

使用する装置を設定する場合、次の点に注意してください。


- 装置は、頑丈で平らな場所に置いてください。適切な換気のために必要な空気の流れを確保するため、コンピュータのすべての通気孔のある側面に、少なくとも 10.2 cm のすきまがあるようにします。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。
  - 装置は積み重ねないでください。また、再循環空気または余熱空気の影響を受けるほど近くに装置同士を配置しないでください。
-  **メモ:** お使いのコンピュータのマニュアルで重量制限を確認してから、コンピュータの上にモニターまたはその他のデバイスを設置してください。
- 装置のケーブルの上に物を載せないでください。また人が踏んだりつまづいたりする恐れのある位置に設置しないでください。
  - すべてのケーブルが適切なコネクタに接続されていることを確認します。コネクタの中には似たようなものがあり、間違いやすい場合があります（例えば、モデムケーブルをネットワークコネクタに接続しないでください）。
  - 押し入れの中や、ベッド、ソファ、カーペットの上に装置を置かないでください。
  - 暖房器具や熱源の近くにデバイスを置かないでください。
  - 極端に高温または低温な環境に装置を置かずに、指定された動作範囲で使用してください。
  - 装置の通気孔や開口部にいかなる物質も入れないでください。開口部に異物を押し込むと、内部の部品がショートして、発火や感電の原因となる場合があります。

- デバイスの下に紙などを敷かないでください。また、押し入れの中や、ベッド、ソファ、カーペット、ラグなどの柔らかい布の上にデバイスを置かないでください。


装置を操作する場合、次の点に注意してください。

- お風呂場や流し、プールの近く、または地下室などのような湿気の多い所で装置を使用しないでください。
- 雷雨の際は、AC 電源を使用する装置を使用しないでください。 バッテリー電源を使用するデバイスは、すべてのケーブルが取り外されていれば使用できます。
- お使いのデバイスに内蔵またはオプション（PC カード）のモデムが搭載されている場合は、電話回線を介した落雷による電撃のわずかな危険も避けるため、激しい雷雨時にはモデムケーブルを外してください。
- デバイスにモデムが内蔵されている場合、モデムには、ワイヤサイズが 26 AWG（アメリカ針金ゲージ）以上で、FCC に適合した RJ-11 モジュラープラグの付いているケーブルを使用してください。
- この製品には、CD-ROM、CD-R/W、DVD など内蔵レーザーデバイスを搭載したオプティカルディスクドライブ（ODD）が含まれる場合があります。レーザー光線の被爆を避けるため、いかなる状況においても ODD を動作不能にしたり解体したりしないでください。

これらの ODD は安全基準に準拠しており、US DHHS Standard および IEC/EN60825-1 レーザー安全基準によって Class 1 Laser Products（クラス 1 レーザー製品）に分類されています。これらの ODD デバイスをユーザーが調整することはありません。また、ユーザーによる保守や交換が可能な部品は含まれていません。

 **メモ**：オプティカルストレージデバイスの追加のユーザー情報は、[support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) の「マニュアル」の項で参照することができます。

- 装置の上に食べ物や液体をこぼさないでください。
- 装置をクリーニングする前に、装置のプラグをコンセントから抜きます。デバイスのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。
- ノートブックコンピュータまたはモニタ画面は、柔らかい清潔な布と水でクリーニングします。水で布を湿らせ、それでディスプレイの上から下へ方向に拭いてください。ディスプレイから湿気を素早く取り除き、乾燥させます。長時間湿気にさらすとディスプレイを損傷する恐れがあります。ディスプレイをクリーニングするために、市販の掃除クリーナーを使わないでください。

 **警告**：カバー（コンピュータカバー、ベゼル、フィラーブラケット、ドライブベイカバーなど）が 1 つでも取り外された状態で、装置を操作しないでください。

- 装置が正常に動作しない場合（特に、装置から異常な音や臭いがする場合）、直ちに装置のプラグを抜いて、正規の取扱店またはサービスセンターにご連絡ください。

## 安全について：デバイス内部の作業をする場合

デルのマニュアルまたはデル提供の手順で説明されている場合を除いて、ご自身で装置の修理を行わないでください。

また、各種機器の取り付けに関しては、それぞれの手順に必ず従ってください。

- 感電を防ぐため、雷雨時にはケーブルの接続や取り外し、およびお使いの装置のメンテナンスや再設定作業を行わないでください。
- PC カードは通常の動作でもかなり熱くなることがあります。長時間連続して使用した後に PC カードを取り出す際は、注意してください。

## 静電気障害への対処



**警告：**このウェブサイトにある「安全にお使いいただくための注意」の項を参照し、製品別の安全に関する情報に従って、製品を主電源から取り外してください。

静電気（ESD）は、お使いのコンピュータ内部の電子部品を損傷する恐れがあります。特定の状況の下では、ESD は身体や周辺装置などの物体に蓄積され、お使いのコンピュータなどの、別の物体に放電されることがあります。ESD による損傷を防ぐために、メモリーモジュールなどお使いのコンピュータ内部の電子部品に触れる前には、身体から静電気を除去してください。

電子部品に触れる前に、アースされている金属物体（お使いのコンピュータの I/O パネルの、塗装されていない金属面など）に触れることにより、ESD による損傷を防ぐことができます。周辺機器（携帯用パーソナルデジタルアシスタントを含む）をお使いのコンピュータに接続する場合は、その前に必ず、ご自身と周辺機器の静電気を除去してください。また、コンピュータ内部の作業をしている間は、定期的に I/O コネクタに触れ、身体に蓄積された静電気を除去します。

さらに、静電気による損傷を防止するために、以下の手順を実行することもお勧めします。

- 静電気に敏感な部品を出荷用梱包から取り出す場合は、コンピュータに部品を取り付ける用意ができるまでは、その部品を静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止パッケージを開梱する直前に、必ず身体から静電気を除去してください。
- 静電気に敏感な部品を運ぶ場合は、最初に静電気防止容器またはパッケージに入れてください。
- 静電気に敏感な部品の取り扱いは、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止用のフロアパッドと作業台パッドを使用してください。


## 安全について：電源に関する一般的注意事項

お使いの装置を電源に接続する場合は、以下のガイドラインに従ってください。


- 装置をコンセントに接続する前に定格電圧を調べ、電圧および周波数の必要要件が接続する電源と適合していることを確認してください。
- お使いのデバイスには、内蔵電源または外付けのアダプタが装備されています。内蔵電源の場合は、お使いのデバイスに以下のいずれかが搭載されています。
  - 自動電圧回路 – 自動電圧回路が搭載されているデバイスには、背面パネルに電圧切り替えスイッチが付いていません。また、正しい動作電圧が自動的に検出されます。

または

- 手動電圧切り替えスイッチ — 背面パネルに電圧切り替えスイッチが付いているデバイスでは、正しい動作電圧を手動で設定しなければなりません。お住まいの地域の電圧に最も合った設定にスイッチをセットします。

 **メモ**：お使いのシステムのスイッチは、ここで表示されているものと異なる場合があります。



 **注意**：手動電圧切り替えスイッチが付いているコンピュータへの損傷を防ぐため、スイッチはお使いになる地域の AC 電源に最も合った電圧に設定してください。


日本の AC 電源は 100 V ですが、電圧設定スイッチは 115 V の位置に設定してください。また、モニターや接続しているデバイスもお使いになる地域の AC 電源で動作することを定格ラベルで確認してください。

- 装置の電源ケーブルが損傷した場合は、この電源ケーブルをコンセントに接続しないでください。
- 感電の危険を避けるために、装置の電源ケーブルは、正しい方法でアースされている電源コンセントに接続してください。装置に三芯電源ケーブルが同梱されている場合は、アース機能を迂回するアダプタプラグを使用しないでください。または、プラグやアダプタからアース機能を取り外してください。
- ノルウェーおよびスウェーデンで使用する場合、この製品に三芯電源ケーブルが同梱されている場合は、電源ケーブルをアースが付いているコンセントのみに接続します。

- 拡張電源ケーブルを使用する場合は、拡張電源ケーブルに接続する装置の定格電流の合計が、拡張ケーブルの許容定格電流を超えないことを確認してください。
- 拡張ケーブルや電源ストリップを使用する必要がある場合は、それらを他の拡張ケーブルや電源ストリップではなく、壁にあるコンセントに接続するようにしてください。延長ケーブルや電源ストリップはアース用プラグを使うよう設計されていなければならず、アースされた壁コンセントに差し込まなければなりません。
- 複数のコンセントがある電源タップを使用する場合、電源ケーブルを電源タップへ接続する際は、特に注意してください。電源タップの中には、不適切なつなぎ方でも差し込めるものがあります。不適切なつなぎ方で電源プラグを挿入すると、感電または発火の危険があるだけでなく、機器に永続的な損傷を与える恐れがあります。電源プラグのアース芯が電源タップのアース接続端子に挿入されていることを確認してください。
- 電気ソケットから装置を外す場合は、ソケットケーブルではなくプラグを持ってください。

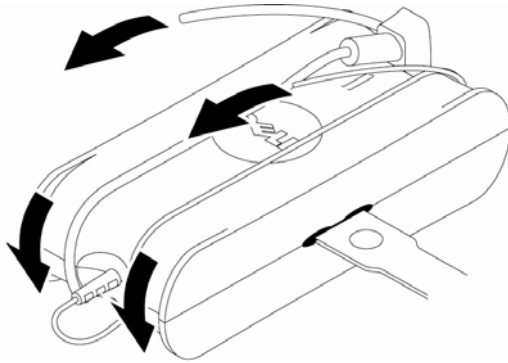
お使いの装置が AC アダプタを使用する場合、以下の点に注意してください。

- このデバイスでの使用を認められたデル製の AC アダプタのみをお使いください。別の AC アダプタを使用すると、発火または爆発を引き起こすことがあります。

 **メモ**：お使いのデバイスでの使用が認められた適切なアダプタについての詳細は、システムの定格ラベルを参照してください。



- ACアダプタをコンピュータの駆動またはバッテリーの充電に使用するときには、机の上や床の上など換気のよい所にACアダプタを置いてください。ACアダプタの冷却を妨げるため、紙やその他のアイテムでカバーしないでください。また、ACアダプタをキャリーケースの中に入れてそのまま使用しないでください。
  - ACアダプタは通常のコンピュータの動作中でも熱くなることがあります。ACアダプタの使用時または使用した直後は、取り扱いにご注意ください。
  - アダプタは、緑色のライトが見えるように、床や机の上に置くことをお勧めします。これにより、アダプタが外部の影響により誤って抜けてしまわないよう注意することができます。何らかの理由で緑色のライトが消えた場合は、コンセントからAC電源コードを10秒間外してから、電源ケーブルを再度接続します。
  - 日本で使用する場合、ACアダプタにはデル製のAC電源ケーブルのみをお使いください。他社製の電源ケーブルの使用は、デバイスまたはACアダプタに損傷を与えたり、火災や感電を引き起こしたりする危険があります。
- ⚠ 警告：ACアダプタを携帯する場合の準備として、次の図のように、両方のコードをアダプタの周りに同じ方向に巻き付けます。間違った方向にコードを巻き付けるとコードに損傷を与える可能性があります、アダプタの保証ではカバーされません。損傷または過度の消耗があると思われるACアダプタは絶対に使用しないでください。**



### AC プラグアダプタの接続（日本のみ）

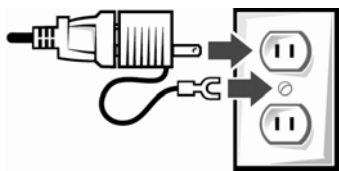
**⚠ 警告：** AC プラグアダプタを使用する場合は、緑色のアース線と電源のリード線が接触しないように注意してください。感電、発火またはコンピュータを損傷させる原因となります。

**📌 メモ：** 日本で利用できる一部のデバイスには、AC プラグアダプタが付いていません。

- 1 金属製のアースコネクタをコンセントのアース端子に接続します。



- a アース端子を緩めます。
- b 金属製のアースコネクタをアース端子の後ろ側に挿入し、アース端子を締めます。



- 2 AC 電源ケーブルをコンセントに接続します。


## 安全について：デバイスが濡れた場合

**⚠ 警告：**本項の手順を開始する前に、本書の安全について：「一般的注意事項」を参照してください。


**⚠ 警告：**この手順は、必ず安全であることを確認した上で実行してください。コンピュータがコンセントに接続されている場合、可能であれば回路ブレーカで AC 電源をオフにしてから、電源ケーブルを抜いてください。濡れたケーブルを通電しているコンセントから抜くときは細心の注意を払ってください。


- 1 AC アダプタをコンセントから取り外し、可能であれば、次にデバイスから AC アダプタを取り外します。

- 2 接続されている外付けデバイスの電源を切り、各外付けデバイスの電源ケーブルを外した上で、デバイスから取り外します。
- 3 ノートブックの場合、メインバッテリーをバッテリーベイから取り外し、必要に応じて、セカンドバッテリーをメディアベイから取り外します。  
バッテリーを拭いてから、安全な場所に置いて乾燥させます。
- 4 Dell サポートにご連絡ください（適切な連絡先情報については、『ユーザーズガイド』または『オーナーズマニュアル』を参照）。

 **メモ**：保証情報については、『サービス & サポートのご案内』を参照してください。

## 安全について：コンピュータやモニタを落とした場合、または損傷した場合


 **警告**：本項の手順を開始する前に、本書の「安全について：一般的注意事項」および「安全について：電源に関する一般的注意事項」を参照してください。

 **警告**：破損部分から内蔵コンポーネントが見える場合、または煙や異臭を検知した場合は、コンセントからデバイスを取り外し、Dell サポートにご連絡ください。適切な連絡先情報については、『ユーザーズガイド』または『オーナーズマニュアル』を参照してください。


- 1 開いているファイルを保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。

- 2 コンピュータまたはモニタの AC アダプタを電源コンセントから外し、次に、可能であればコンピュータまたはモニタから AC アダプタを取り外します。
- 3 コンピュータに接続されている外付けデバイスの電源を切り、各外付けデバイスの電源ケーブルを外した上で、コンピュータから取り外します。
- 4 バッテリーが搭載されている場合はバッテリーを取り外し、取り付け直します。バッテリーに電力が供給されていない場合は、コンセントにデバイスを接続します。
- 5 デバイスの電源を入れます。

デバイスが起動しない、煙や異臭を検知した、または損傷したコンポーネントがわからない場合は、デルへお問い合わせください（適切な連絡先情報については、『ユーザーズガイド』または『オーナーズマニュアル』を参照）。

 **メモ**：保証情報については、『サービス & サポートのご案内』を参照してください。

## **警告：テレビチューナーを安全にお使いいただくための注意**

 **警告**：本書に記載されている、コントロール、調整、手順、接続、または信号様式以外を使用すると、ショック、電氣的障害、または機械的障害が発生する可能性があります。


ご自身の身体の安全を守り、お使いの装置と作業環境を保護するために、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。


- 説明書を読み、保存しておく - 注意事項および操作手順をすべて読み、将来のために保存しておきます。
- 警告に従う - 製品および製品マニュアルにあるすべての警告に従います。
- 雷雨時または長期に渡り放置されるか使用されない場合は、製品への損傷を防止するため（雷および電圧スパイクが原因で）、コンピュータまたは外付けテレビチューナーユニットを電源コンセントから外し、アンテナまたはケーブルシステムを取り外します。
- 感電および火災から引き続き保護するため、このアクセサリは、三芯電源ケーブルを備えたコンピュータなどの製品にのみインストールまたは接続してください。装置に三芯電源ケーブルが装備されている場合は、アース機能を迂回するアダプタプラグを使用しないでください。または、プラグやアダプタからアース用ピンを取り外さないでください。プラグを電源コンセントに差し込むことができない場合は、電気技師に連絡して旧式のコンセントを交換してもらいます。
- 感電の危険を避けるため、チューナーまたはコンピュータが水分またはその他のいかなる液体にも触れることがないようにします。
- 屋外用アンテナシステムは、頭上の電線またはその他の電灯や電気回路の近く、または電線や電気回路の上に落下する恐れのある場所には設置しないでください。
- 屋外用アンテナシステムをインストールする際は、アンテナシステムが電線または電気回路に接触することがないように、細心の注意を払ってください。接触した場合は生命への危険が伴う場合があります。

- 屋外用アンテナが製品に接続されている場合は、電圧スパイクおよび蓄積された静電気からの保護を確保するため、アンテナシステムが適切にアースされていることを確認します。適切な柱および支柱のアース、放電ユニットへの引込線のアース、アースコンダクタのサイズ、アンテナ放電ユニットの設置場所、アース電極の接続、およびアース電極要件についての情報は、管轄の電気規定を参照してください。
  - アメリカ合衆国のユーザーおよび設置者 - 適切な柱および支柱のアース、放電ユニットへの引込線のアース、アースコンダクタのサイズ、アンテナ放電ユニットの設置場所、アース電極の接続、およびアース電極要件についての情報は、アメリカ合衆国電気規制、ANSI/NFPA No.70 の規約 810.21 を参照してください。
  - 欧州連合加盟国のユーザーおよび設置者 - アースコンダクタのサイズ、アンテナ放電ユニットの設置場所、アース電極の接続、およびアース電極要件を含む、電源分散システムからのアンテナの分離、大気中過電圧保護、アンテナシステムの保護、アンテナシステムのアースおよび固定、および屋外用アンテナの機械的安定性についての情報は、EN60728-11 : 2005 を参照してください。

**⚠ 警告：ノルウェーのユーザーおよび設置者 - ケーブル分配システムの同軸ケーブルの仕切りとローカル装置アース（通常、コンピュータシステムのアースされたシャーシ）との電圧差が原因で危険な状況が発生する場合があります。いかなる危険も避けるために、テレビチューナーカードからケーブル分配システムへのアンテナおよびケーブル入力接続は、直流電気絶縁体（お使い**

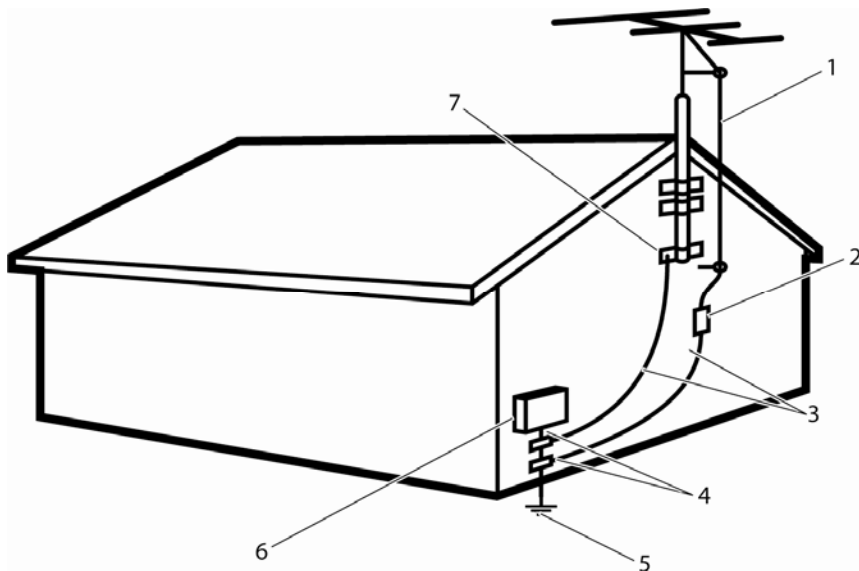
のコンピュータに同梱されていない場合があります)を通して行わなければなりません。

 **警告** : スウェーデン、フィンランド、およびデンマークのユーザーおよび設置者 - お使いのコンピュータに直流電気絶縁体と同梱されている場合は、同軸アンテナコネクタに直列で使用する必要があります。手順については、『ユーザーズガイド』または『オーナーズマニュアル』を参照してください。

 **メモ** : CATV システム設置者 - National Electric Code (NEC) 820.93 項、ANSI/NFPA 70:2005 (米国/カナダ)、および EN60728-11:2005 標準 (欧州連合) は、適切なアースについてのガイドラインを示しており、同軸ケーブルのシールドは、建物のアースシステムの可能な限りケーブルの入り口近くに接続する必要があると明記しています。



## アンテナのアースの例



- |   |                        |   |                              |
|---|------------------------|---|------------------------------|
| 1 | アンテナ引込み線               | 2 | アンテナ放電ユニット<br>(NEC 810-20 項) |
| 3 | アースコネクタ (NEC 810-21 項) | 4 | 接地クランプ                       |
| 5 | 電極システムをアースする電気サービス     | 6 | 電気サービス装置                     |
|   | (NEC 規約 250.52)        |   |                              |
| 7 | 接地クランプ                 |   |                              |

**メモ** : NEC は、United States National Electric Code (NEC)、ANSI/NFPA 70:2005 を指しています。お住まいの地域の設置要件については、地元の電気工事規定を参照してください。

## 安全について：テレビチューナーのオプションのカードにおける注意事項

- テレビチューナーのオプションのカードは、カードケースアクセサリをユーザーがインストールできるように詳細な手順が提供されていて、互換性があり、ULにリストされている（または同等の）パソコンでのみ使用できます。
- 感電を防止するために、コンピュータが電源に接続されている間は、絶対に分解したり、コンピュータの内部に触れたりしないでください。
- オプションカードとコンピュータ間が常に密着するよう、すべてのカード固定ピンを完全に締めます。
- 感電の危険を避けるため、チューナーまたはコンピュータが水分またはその他のいかなる液体にも触れることがないようにします。

## 安全について：外付けテレビチューナーを安全にお使いいただくための注意

- 感電の危険を避けるため、いかなる金属もテレビチューナーの開口部に挿入しないでください。
- テレビチューナーキャビネットの開口部は、換気用です。オーバーヒートを避けるため、これらの開口部を防御したり、塞いだりしないでください。キャビネットの中の換気を妨害する可能性があるため、テレビチューナーをベッド、ソファ、絨毯、またはその他の柔軟な表面で使用することは避けてください。テレビチューナーを本棚またはエンクロージャに設置する場合は、十分な換気と通気が得られることを確認します。

- サービスまたは修理作業は、資格のあるサービス技術者が行う必要があります。不適切な再組み立ては感電の原因となります。
- 感電の危険を避けるため、チューナーまたはコンピュータが水分またはその他のいかなる液体にも触れることがないようにします。

## 警告：ノートブックデバイスを安全にお使いいただくための注意

本書の「一般的注意事項」および「電源に関する一般的注意事項」を参照してください。

以下のノートブックデバイスを安全にお使いいただくためのガイドラインを使用して、ご自身の安全を確保し、デバイス(コンピュータ、ポトリプリケータ、メディアベース、ドッキングステーション、類似のデバイス)および作業環境を損傷しないように保護してください。

## 安全について: ノートブックデバイスに関する一般的注意事項

- コンピュータの電源が入っている間は、キャリーケースや閉めたブリーフケースなど空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。
- 長時間使用すると、底面に熱が蓄積される可能性があります(特に AC 電源が入っているとき)。肌に直接触れる状態で使用すると、不快に感じたり、やけどをしたりする恐れ

れがあります。肌に直接触れる状態で使用すると、不快に感じたり、やけどをしたりする恐れがあります。

- メモリおよびモデムアクセスドアを開く前に、電話線を含めすべてのケーブルを外します。

## 安全について: ノートブックデバイスの電源に関する注意事項

- このデバイスでの使用を認められたデル製の AC アダプタのみをお使いください。別の AC アダプタを使用すると、安全上の問題の原因となります。AC アダプタの電気定格については、お使いのユーザズガイドまたはオーナーズマニュアルを参照してください。
- ノートブックコンピュータのすべての電源からコンピュータを取り外すには、コンピュータの電源を切り、AC アダプタをコンセントから外してから、バッテリーベイまたはモジュールベイに取り付けられているバッテリーを取り外します。

## オートアダプタの電源に関する注意事項

- Dell オートアダプタは、お使いのノートブックコンピュータを車、ボート、または飛行機の中で電源を供給し、充電ができるようにします。アダプタはお使いのコンピュータを、DC 電源ケーブルで電源に接続します。DC 電源ケーブルは、自動車のシガレットライターまたは帯電型コネクタのいずれかに接続します。オートアダプタを接続して使用する前に、『ユーザズガイド』にある操作手順をお確かめください。
- デバイスは、商業用運搬車など高電圧（24 VDC）の車両では使用しないでください。

- 自動車用アダプタをコンピュータに接続します。次に、車のエンジンまたはその他の DC 電源が切れている状態で、アダプタをシガレットライターまたは DC 電源に接続します。

## 安全について: ノートブックデバイスのバッテリーに関する注意事項

- ⚠ **警告:** 互換性のないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。他のコンピュータモデルのバッテリーを使用しないでください。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。
- 損傷したバッテリーを使用すると、けがをする危険性があります。損傷とは、バッテリーがへこんだり、穴が開いたりするような衝撃やショック、火の中に入れること、その他の変形などを含みます。  
バッテリーを分解しないでください。破損または液漏れしているバッテリーパックは、十分注意して取り扱ってください。バッテリーが損傷している場合、バッテリーセルから電解液が漏れ、けがをする可能性があります。
- バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。
- お使いのコンピュータまたはバッテリーパックをラジエータ、暖炉、ストーブ、電気ヒーターまたはその他の発熱器具などの熱源にさらしたり（保管または設置）、温度が 65 °C を超えるような場所に置かないでください。過度の高温になると、バッテリーセルが曲がったり、破裂したり、発火の原因になることがあります。

- バッテリーパックを、バッテリー端子をショートさせるような鍵などの金属物が入ったポケット、ハンドバッグ、またはその他の入れ物に入れないでください。過度の電流フローは極度に高温に達する可能性があり、バッテリーパックや周辺の素材に損傷を与え、火傷などのけがをします。
- 使用済みのバッテリーは適切な方法で廃棄します。本書の「バッテリーの廃棄」を参照してください。

## 警告：デスクトップコンピュータを安全にお使いいただくための注意

本書の「一般的注意事項」および「電源に関する一般的注意事項」を参照してください。

お使いのコンピュータを接続して使用する際は、この手順をお読みになりそれに従ってください。

使用する装置を設定する場合、次の点に注意してください。

- 装置は、頑丈で平らな場所に置いてください。
- 適切な換気のために必要な空気の流れを確保するため、コンピュータのすべての通気孔のある側面に、少なくとも 10.2 cm のすきまがあるようにします。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする可能性があります。

## 安全について：デスクトップコンピュータに関する電源の注意事項

お使いの装置を電源に接続する場合は、以下のガイドラインに従ってください。

- 装置をコンセントに接続する前に定格電圧を調べ、電圧および周波数の必要要件が接続する電源と適合していることを確認してください。
- お使いのデバイスには、内蔵電源または外付けのアダプタが装備されています。内部電源の場合、お使いのデバイスには、自動電圧回路または手動電圧切り替えスイッチが装備されています。
- 手動電圧切り替えスイッチの適切な設定については、「電源に関する一般的注意事項」を参照してください。

## 安全について: デスクトップコンピュータに関するクーラントの注意事項

次の情報は、液体冷却アセンブリが装備されたデスクトップコンピュータに適用されます。


- 液体冷却アセンブリは、ユーザーが修理したりアップグレードしたりできません。すべての必要なサービスは、訓練を受けたサービス技術者によって行われる必要があります。
- クーラントが漏れた場合、直ちにお使いのシステムをシャットダウンし、コンセントからシステムのプラグを抜いて、デルサポートにご連絡ください（適切な連絡先情報については、ユーザーズガイドまたはオーナーズマニュアルを参照してください）。クーラントが漏出した場合、速やかにお使いのコンピュータをシャットダウンし、システムのプラグを電源コンセントから外し、次に Dell テクニカルサポートにご連絡ください。

- クーラントが皮膚に触れた場合は、直ちに石鹼と水で洗ってください。皮膚に炎症が表れた場合は、医師の診察を受けてください。
- クーラントが目に入った場合は、直ちに目を開けたまま15分以上水で洗い流してください。炎症が続くようであれば、医師の診察を受けてください。

## **警告：モニタを安全にお使いいただくための注意**

本書の「一般的注意事項」および「電源に関する注意事項」を参照してください。

コンピュータのモニタを接続し使用する際は、この手順をお読みになりそれに従ってください。

 **警告：本書に記載されている、コントロール、調整、手順以外を使用すると、ショック、電氣的障害、または機械的障害が発生する可能性があります。**

- モニタが、設置場所で使用する AC 電力で作動することを必ず定格ラベルで確認してください。
- **メモ：**このモニタには、AC 電圧入力の設定に電圧切り替えスイッチは必要なく、電圧切り替えスイッチは存在しません。ユーザズガイドの「電気仕様」に定義された値域に従って、自動的に AC 入力電圧に対応します。
- モニタは硬くしっかりした面に設置し、慎重に扱います。画面はガラスで出来ているため、落としたり激しくぶつかれると損傷する可能性があります。



- フラットパネルモニタは、室温で保管します。極端な低温や高温の環境は、画面の液晶に悪影響を及ぼす可能性があります。
- モニタを激しい振動や強い衝撃を受ける状況に置かないでください。たとえば、車のトランクにモニタを置かないでください。
- 長い期間モニタを使用しない場合は、プラグを抜いてください。
- 感電を防止するため、モニタカバーを開けたり、モニタ内部に触れたりしないようにします。資格のあるサービス技術者のみがモニタケースを開けるようにしてください。